

YPU TFT PROJECT ~play with smiles~

・ 構成員

代表者	： 高家あゆみ (国際文化学科 2年)		
会計	： 二宮祐子 (文化創造学科 2年)		
指導教員	： 浅羽祐樹 (国際文化学科)		
メンバー	： 小池亜沙子 (文化創造学科 2年)	松浦瞳 (栄養学科 2年)	
	中元美穂 (国際文化学科 2年)	永村志織 (看護学科 1年)	
	金澤美由紀 (国際文化学科 2年)	渡邊留美 (国際文化学科 1年)	

・ プロジェクトの目的

昨年度は、食堂に TABLE FOR TWO* (TFT) を導入することが目的でした。今回私たちは、この導入した TFT を活用し、地域の方々が気軽に足を運べるような大学を目指しました。TFT のヘルシーメニューを通して、“世界の食事情”や“食べることの大切さ”を再確認し、既定の TFT の活動を中心とするのではなく、“地域とのつながり”を第一に考え、地域の方々と共にこの山口県立大学にしかない YPU TFT をつくって来ました。今期は「らんラン RUN♪ ~play with smiles~」をモットーに、活動を通してたくさんの「笑顔」が生まれ、伝播していく活動を目指しました。(※TABLE FOR TWO…私たちが食事をする際、いくらか上乘せした代金を支払うことによって、貧困に苦しむ発展途上国の子供たちにも、一食分の食事を届けることができるシステム)

・ 活動内容

1. 高校生に伝えよう！

2010年7月18日(日)、県立大学のオープンキャンパスで展示しました。展示では、世界の食糧事情や TFT の仕組みなどをわかりやすく図にしたり、配布資料を制作して高校生に説明したりしました。高校生のなかには、「今まで TFT のことを知らなかったので、今回とてもいい経験になった。」と笑顔で答えてくれる子もいました。



2. 次の笑顔へつなげよう！

2010年7月19日(月)、大学の食堂で TFT カフェを開催しました。目的は“地域の人とつながり、TFT を広める”で、事前に試食会や説明の練習に尽力しました。しかし、広報期間が短かったことや宣伝不足の影響で当日は人があまり集まらず、思うままに運営することができませんでした。この出来事は、今後の私たちの活動の取り組み方や手法に、大きな影響を与える重要な機会になりました。



3. 夏バテなんて吹き飛ばし、笑顔で夏を乗り切ろう作戦！

2010年7月20日(火)~23日(金)、食堂で「豚しゃぶの冷製パスタ」を1食300円で販売しました。暑い宮野の夏に、ひんやりパスタサラダはぴったりで、連日完売することができました。多くの人から、「おいしかった。」「また TFT メニューを販売してほしい。」という嬉しいお言葉をいただきました。4日間の売り上げ食数は104食で、1食につき20円が支援国へ送られました。



4. さらに高校生に広めよう！

2010年9月4日(土)、野田学園高等学校の学園祭にて展示を行いました。TFTの概要や支援国の説明を記したパネル、これまでの私たちの活動、TFTメニューの紹介といった展示をさせていただきました。高校生やその保護者の方、そして地域の方に、私たちがどのような活動をしているかを知ってもらえる大きな機会だと思って準備をしました。



5. 日本で、世界で「いただきます」！

2010年10月16日(土)、Yucca(地域交流スペース)で「100万人のいただきます！」という、私たちの試作会を兼ねた、全国同時多発イベントを開催しました。TFTを導入している全国の大学や企業が連携し、日本に限らず韓国やアメリカなど世界各地で、世界食料デーであるこの日の正午に一斉に「いただきます！」をする企画です。参加して頂いた25名の方から、試作したミネストローネの感想や改良案、またTFTの活動に参加したい！というお言葉もいただき、私たちはもちろん参加者の方のたくさんの笑顔を見ることができました。イベントの様子は10月27日(水)18:17～、YABの「Jチャンやまぐち」で報道されました。



6. ヘルシーうどんで暖まろう！in 華月祭

2010年11月6日(土)、華月祭での模擬店出店を行いました。昨年と同様、今やYPU TFTの代表的ヘルシーメニューとも言える「豆乳みそ煮込みうどん」を販売しましたが、昨年のもとは一部具を変えるなど工夫をしました。当日は1食230円で販売し、夕方からの寒さも手伝って、1日で211食を売り上げることができました。集まった寄付金の額は4,420円で、1食につき20円が給食として送られました。



7. 寒い県立大学に“ほっと”笑顔！

2010年12月13日(月)～17日(金)「ほっと X'mas フェア」を開催し、食堂でTFTメニューを販売しました。メニューは、大人気の「豆乳みそ煮込みうどん」、いただきますイベントで試食して頂き、改良した「ミネストローネスパ」「トマトリゾット」でした。寒い冬をHOTに、そして「ほっ」と落ち着けるようにと、開催名を名付けました。美味しいというお言葉や、寒い時期にぴったりというお言葉をいただきました。5日間で147食が売れ、2,940円の寄付金が集まりました。



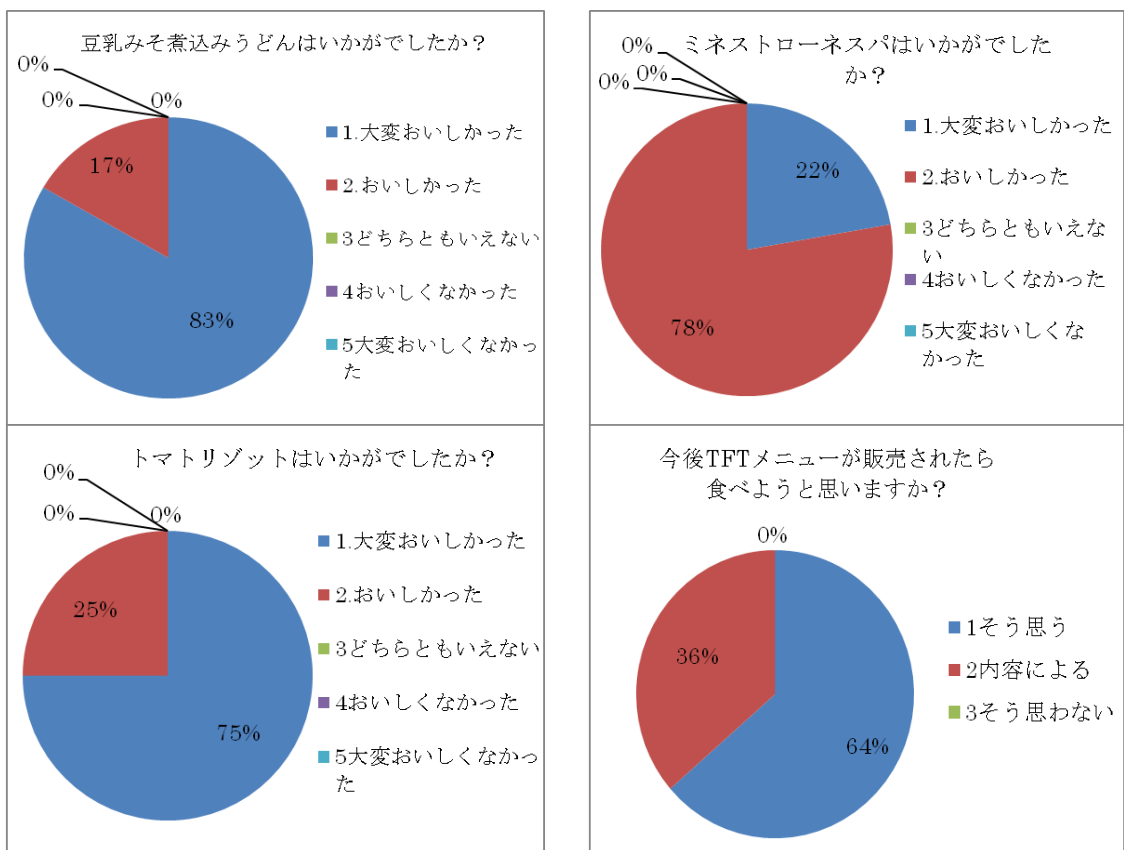
8. 全国へ進出！

2010年12月22日(水)、東京のお茶の水大学でTFT-UAの全国ミーティングを行いました。TFT-UAとは全国でTFTを推進する活動を行っている大学生の組織で、当日は100名余りの方が参加しました。各大学の活動や、TFT-UAのあり方、地方と都心部の活動の格差などを話し合いました。



★2010年12月13日(月)～17日(金)

「ほっと X'mas フェア」アンケート結果



・成果及び感想

活動の目的の1つに“地域と強いつながりを持つこと”がありましたが、これは十分に果たしたと言い切れません。しかし、今年度は、食堂や華月祭での販売という学内の活動だけに留まらず、他大学と連携し、国際社会とつながる「100万人のいただきます」イベント等を行うことができました。また、TFT-UAと積極的に関わりを持ち、大学生のTFT活動の課題も見つかりました。さらに、私たちの活動がメディアに取り上げられ、それにより地域の小学校に出向くなど、これから世界を担っていく次世代ともつながることができました。活動仲間をはじめ、企画に参加してくださった方々、そして支援国の子どもたちの笑顔を生み出すことができ、それらがYPU TFT PROJECTの支えであり、多くの人に感謝を覚える1年間でした。これからも感謝の気持ちを忘れず、もっと幅広い活動ができるよう、さらなる学内でのTFTの浸透やメンバーの人員と連携の強化を目指します。支援、応援、ご協力してくださった皆さん、ありがとうございました。

・指導教員のコメント

2009年度に始まったYPU TFT PROJECT。今年度は、1期生から2期生へ、他大学との連携、そして、地域の方々へ、まさに、「らんラン RUN♪～play with smiles～」と引き継いだバトンをリレーし、テーブルの向こう側へと繋げてくれた。山口県立大学の存在感や魅力は何より学生たちであることを改めて実感すると同時に、教育や学習の本質は「継承・発展」にこそあるということを噛みしめる思いだ。

・収支報告

配分額	99,980 円	
支出内訳	食材開発費	62,148 円
	印刷代・画材費	6,510 円
	消耗品	12,040 円
	華月祭出店料	2,000 円
	TFT-UA 交通費	17,282 円
支出合計	99,980 円	
残金	0 円	